

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2007-307406(P2007-307406A)

【公開日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2007-199701(P2007-199701)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に遊技球を打ち込むことにより遊技が行なわれ、遊技球を受入れやすい遊技者にとって有利な第1の状態と該第1の状態に比べて遊技球を受入れにくい遊技者にとって不利な第2の状態とに変化する可変入賞球装置を備え、前記遊技領域に設けられた始動領域に遊技球が進入したことを条件として、所定の始動態様で前記可変入賞球装置を前記第2の状態から前記第1の状態に制御し、前記可変入賞球装置に進入した遊技球が特定進入領域に進入したことに基づいて、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記始動領域に遊技球が進入したことを条件として、前記特定遊技状態に制御するか否かを決定する特定遊技状態決定手段と、

該特定遊技状態決定手段により前記特定遊技状態に制御すると決定されたことに基づいて、前記特定進入領域への遊技球の進入によることなく前記特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段と、

前記特定遊技状態が終了したことを条件として、通常状態よりも前記始動領域へ遊技球が進入しやすい高進入状態に制御する進入状態制御手段とを備えることを特徴とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、たとえば、パチンコ遊技機やコイン遊技機あるいはスロットマシン等で代表される遊技機に関する。詳しくは、遊技領域に遊技球を打ち込むことにより遊技が行なわれ、遊技球を受入れやすい遊技者にとって有利な第1の状態と該第1の状態に比べて遊技球を受入れにくい遊技者にとって不利な第2の状態とに変化する可変入賞球装置を備え、前記遊技領域に設けられた始動領域に遊技球が進入したことを条件として、所定の始動態様で前記可変入賞球装置を前記第2の状態から前記第1の状態に制御し、前記可変入賞球

装置に進入した遊技球が特定進入領域に進入したことに基づいて、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

從来から一般的に知られている遊技機としては、たとえば、特別図柄表示装置において変動された後に停止された図柄が、大当たり図柄であったときに、大当たりと称される特定遊技状態に制御するもの（特許文献1）があった。

【特許文献1】特開2000-05399号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、このような遊技機においては、遊技の興趣をより一層向上させることが望まれている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明はかかる実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、遊技の興趣をより一層向上させることができる遊技機を提供することである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技領域（遊技領域41）に遊技球（打球）を打ち込むことにより遊技が行なわれ、遊技球を受入れやすい遊技者にとって有利な第1の状態（開放状態）と該第1の状態に比べて遊技球を受入れにくい遊技者にとって不利な第2の状態（閉鎖状態）とに変化する可変入賞球装置（第1特別可変入賞球装置66および第2特別可変入賞球装置48、第1特別可変入賞球装置66）を備え、前記遊技領域に設けられた始動領域（普通可変入賞球装置58、始動入賞球装置58b、始動口スイッチ56, 60）に遊技球が進入したこと（SD01においてYESと判断されたこと）を条件として、所定の始動態様（第1特別可変入賞球装置66の開閉片81を回動させて開口部82を開放する態様）で前記可変入賞球装置を前記第2の状態から前記第1の状態に制御し（SP01）、前記可変入賞球装置に進入した遊技球が特定進入領域（第1特定進入口89、第2特定進入口91、第1特定球検出器121a、第2特定球検出器121b）に進入したことに基づいて（SP

40においてY E S、S P 4 2においてY E S)、遊技者にとって有利な特定遊技状態(大当たり)に制御する(S P 4 1、S P 4 5、S P 1 2)遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

前記始動領域に遊技球が進入したことを条件として、前記特定遊技状態に制御するか否かを決定する特定遊技状態決定手段(S L 0 1 ~ S L 0 4)と、

該特定遊技状態決定手段により前記特定遊技状態に制御すると決定されたことに基づいて、前記特定進入領域への遊技球の進入によることなく前記特定遊技状態に制御する特定遊技状態制御手段(S L 0 5、S L 0 8、S M 0 7)と、

前記特定遊技状態が終了したことを条件として、通常状態よりも前記始動領域へ遊技球が進入しやすい高進入状態に制御する進入状態制御手段(S D 1 0、S E 0 3、S E 0 6)とを備える。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような構成によれば、遊技球が特定進入領域に進入したことにより特定遊技状態に制御されるとともに、特定進入領域への遊技球の進入によることなく特定遊技状態に制御すると決定されたことによっても特定遊技状態に制御されるため、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

以下に、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。以下の実施の形態においては、遊技機を示すが、本発明はこれに限らず、たとえば、封入式の遊技機等であってもよく、遊技領域に遊技球を打ち込むことにより遊技が行なわれ、遊技球を受入れやすい遊技者にとって有利な第1の状態と該第1の状態に比べて遊技球を受入れにくい遊技者にとって不利な第2の状態とに変化する可変入賞球装置を備え、前記遊技領域に設けられた始動領域に遊技球が進入したことを条件として、所定の始動態様で前記可変入賞球装置を前記第2の状態から前記第1の状態に制御し、前記可変入賞球装置に進入した遊技球が特定進入領域に進入したことを条件として、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であれば、どのような遊技機であってもよい。